

5/2 出エジプト記 3章 1-14節「このわたしがあなたを遣わすのだ」

小池宏明牧師

*自分の力に頼って失敗するモーセ

モーセが40歳になったある日のこと、イスラエル人を打ち叩くエジプト人を見て、そのエジプト人を殺してしまった。(2章)使徒の働き(7章)では、モーセが行動を起こせば、イスラエル人同胞皆が付いてくると、思い込んでいたことが記されている。これは、モーセの高ぶりであった。主なる神様はモーセをすぐにも用いることなく、モーセをまことに謙遜に神と人々に仕えるしもべとして訓練された。主はモーセをミディアンの荒野に導き、モーセは隠れるように40年間を過ごし、80歳になっていた。この間に、モーセは幾多の民を率いて荒野で生活する知恵を身に着ける共に、自分自身と向き合うことになっただろう。

*主の顕現と召命を受けるモーセ

いよいよ、神の時が来た。主なる神様はイスラエルの叫びを聞かれて、御心を留めて下さった。主はモーセを神の山ホレブに導き、燃える炎の中で語り掛けられた。主は、イスラエルの民の解放のためにモーセを呼び出され、エジプトに派遣する使命を与えて下さった。しかし、モーセは、何度も断り、尻込みをし続けるのだ。実に不甲斐ないモーセの姿がある。40年も経って、80歳のモーセは、人生に対する諦め感や過去の失敗から脱却できない自己不信に陥っていたのかもしれない。自分を必要以上に信用しないという姿勢は、間違いではないが、自己不信から主なる神様を信頼する方へと導かれて行かないのならば、真に残念なことだ。

だからと言って、主なる神様のモーセに対する召命に変わりはない。主なる神様は、繰り返し語っても従わないモーセに対して怒りを露わにしつつも、一緒に闘う仲間も与えて下さった。

*このわたしが遣わすのだ

こうして、主なる神様が、モーセの願いを全て叶え、すべての必要を満たして、モーセを立ち上がらせて下さった。3章12節中程で主はモーセに語った。「このわたしが、あなたを遣わすのだ」と。「誰が」私たちがこの世界に、そしてそれぞれの人生に遣わしているのだろうか。私たちは、自分で自分の力で頑張っ、自分の弱さに頼って自分の人生を歩んではならないだろう。ただ、私たちは、共にいて導いて下さる主(神)に信頼して、主の力に頼って一步を踏み出せばいいのだ。